

文の京 ゆかりの 文化人

平成30年に記念の年を迎える
主なゆかりの文化人

- 有島武郎——小説家 [1878-1923] 生誕140年
- 石井柏亭——洋画家 [1882-1958] 没後60年
- 井上円了——哲学者・教育者 [1858-1919] 生誕160年
- 内田魯庵——評論家・小説家 [1868-1929] 生誕150年
- 岡野貞一——作曲家 [1878-1941] 生誕140年
- 尾崎士郎——小説家 [1898-1964] 生誕120年
- 嘉納治五郎——教育者・柔道家 [1860-1938] 没後80年
- 狩野芳崖——日本画家 [1828-1888] 生誕190年
没後130年
- 鏑木清方——日本画家 [1878-1972] 生誕140年
- 菊池寛——小説家 [1888-1948] 生誕130年
没後70年
- 草野心平——詩人 [1903-1988] 没後30年
- 清水かつら——詩人 [1898-1951] 生誕120年
- 武田五一——建築家 [1872-1938] 没後80年
- 徳永直——小説家 [1899-1958] 没後60年
- 成瀬仁蔵——教育者 [1858-1919] 生誕160年
- 野間清治——実業家 [1878-1938] 生誕140年
没後80年
- 橋本雅邦——日本画家 [1835-1908] 没後110年
- 松岡映丘——日本画家 [1881-1938] 没後80年
- 真山青果——小説家 [1878-1948] 生誕140年
没後70年
- 三木竹二——劇評家 [1867-1908] 没後110年
- 山田美妙——小説家 [1868-1910] 生誕150年
- 横山大観——日本画家 [1868-1958] 生誕150年



横山大観
(公財)横山大観記念館提供

森鷗外をはじめとする、さまざまな分野の文化人が足跡を残した地・文京。

その代表的な文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信します。

今年度は、日本画家・横山大観（生誕150年・没後60年）を中心に、さまざまな顕彰事業を実施します。

また嘉納治五郎（没後80年）などに関する事業も行います。



文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内

森鷗外記念館

コレクション展「東京・文学・ひとめぐり～鷗外と山手線一周の旅」

江戸から東京へと改称されて150年の今年、山手線周辺地域を中心に、生誕150年の山田美妙をはじめ、ゆかりの作品や文学者、鷗外の足跡を紹介します。

会 期：平成30年7月6日（金）～9月30日（日） 休館日：9/25
観覧料：300円（20人以上の団体240円）

同時開催：コーナー展示「鷗外と画家・藤田嗣治」
没後50年を迎えた画家・藤田嗣治と鷗外のつながりを紹介。

特別展「鷗外の『うた日記』～詩歌にうたった日々を編む」

鷗外が日露戦争中に戦地で創作した新体詩・短歌・俳句などを収録した『うた日記』。この詩歌集に込めた「鷗外の想い」は何だったのでしょうか。詩と歌の連なりから鷗外の足跡と心情を追います。



『うた日記』
明治40年（1907）春陽堂

会 期：平成30年10月6日（土）～平成31年1月14日（月・祝）
休館日：11/27、12/25、12/29～1/3
観覧料：500円（20人以上の団体400円）
※11/1開館記念日は、展覧会観覧者全員にオリジナルポストカードをプレゼント。

津和野・小倉・文京 交流イベント

「わが街、鷗外～津和野、小倉、千駄木の文学の旅」

鷗外ゆかりの地にある文学館同士の交流・リレートークを行い、鷗外の文学世界をみつめます。

日 時：平成30年11月17日（土） 14時～16時（途中休憩あり）
講 師：今川英子氏（北九州市立文学館館長）
小泉浩一郎氏（森鷗外記念会会長、東海大学名誉教授）
山崎一頼氏（森鷗外記念館[津和野]館長、跡見学園女子大学名誉教授）（五十音順）

会 場：文京区立森鷗外記念館2階講座室
対 象：どなたでも 定 員：50人（抽選） 参加費：500円
申 込：往復はがきまたはメール。締切は11月5日（月）必着。詳細はホームページでご確認ください。

コレクション展「鷗外と小倉（仮）」

30代後半に単身赴任した小倉（現・北九州市）は、鷗外の人生においても文学活動でも、再出発の地となりました。「小倉日記附録」（当館所蔵・一部全集未収録）などを中心に、小倉での活動を紹介します。

会 期：平成31年1月19日（土）～3月31日（日） 休館日：2/25、2/26、3/26
観覧料：300円（20名以上の団体240円） ※1/19鷗外誕生日は無料公開日

同時開催：コーナー展示「鷗外と明治20年代の文人交流（仮）」
生誕150年の内田魯庵、山田美妙、没後110年の三木竹二についての資料紹介。

問合せ：文京区立森鷗外記念館
〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4
TEL 03-3824-5511 http://moriogai-kinenkan.jp
開館時間：10時～18時（最終入館17時30分）
※中学生以下、障害者手帳提示の方と介護者1人は観覧料無料

※ふるさと歴史館・森鷗外記念館 相互割引のお知らせ

- 歴史館入館券、友の会会員証、歴史館パンフレット（押印あり）提示
→森鷗外記念館観覧料が2割引
- 森鷗外記念館入館券、鷗外バス提示→歴史館の入館料が団体料金適用

平成30年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

平成30年（2018）9月11日発行

編集・発行：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課
文化資源担当室（文京ふるさと歴史館）
〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29 TEL 03-3818-7221
http://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/
印刷物番号 J0418017

文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内 参加者募集

文化資源担当室・文京ふるさと歴史館

収蔵品展「ぶんきょういきもの大集合！一生息地は博物館一」

館蔵資料の中から「いきもの」にスポットを当てます。夏目漱石、永井荷風などの関連資料も展示します。

会 期：平成31年2月9日（土）～3月17日（日） 休館日：月曜
会 場：文京ふるさと歴史館 地下1階企画展示室
入館料：100円（20人以上の団体70円）

問合せ：文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29
TEL 03-3818-7221

※休館日等の詳細は中頁右下をご参照ください。



「吾輩ハ猫デアル」
表紙（部分）

朗読コンテスト（主催：文京区 主管：跡見学園女子大学）

◆本選 観覧者募集

録音審査通過者（一般の部・青少年の部 計16人）が、課題作家（有島武郎、芥川龍之介、中勘助、宮沢賢治、森鷗外、山本有三）の作品を朗読します。

日 時：平成30年10月28日（日）13時～16時
会 場：跡見学園女子大学プロッサムホール（大塚1-5-2）
定 員：300人（抽選） 観覧料：無料
申 込：応募はがき、FAX、メールに「朗読コンテスト観覧」・住所・氏名・希望人数を明記し下記へ。締切は10月5日（金）。

問合せ：跡見学園女子大学文京キャンパス事務室朗読コンテスト係
〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2

TEL 0w0 FAX 03-3941-8333 E-mail event@atomi.ac.jp

アカデミー推進課文化事業係

平成30年度企画展「新収蔵品展—区民からのおくりもの—

生誕150年・没後60年記念 横山大観とぶんきょう（仮）」

区民の方々から寄贈を受けた洋画・日本画・書・磁器等約40点を展示します。特別出品として、区ゆかりの画家・横山大観が自身の母校である湯島小学校に揮毫し寄贈した、日本画「富士」（中頁の写真参照）をあわせて公開します。

会 期：平成31年2月3日（日）～10日（日） 時 間：10時～18時（最終日のみ正午まで）
会 場：文京シビックセンター 1階 展示室1ギャラリースピック（春日1-16-21）
入場料：無料

関連講演会「横山大観—時代とともに歩んだ画家、その人と芸術—」

東京国立近代美術館「生誕150年横山大観展」を担当した研究員による講演です。

日 時：平成31年2月3日（日）14時～16時（開場13時30分）
講 師：中村麗子氏（東京国立近代美術館主任研究員）
会 場：文京シビックセンター 26階 スカイホール（春日1-16-21）
対 象：どなたでも 定 員：100人（抽選） 参加費：無料
申 込：往復はがき（1枚2名まで）に「2／3横山大観講演会」・全員の住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号と返信用にもあて先を明記し下記へ。

申込期間：平成30年12月10日（月）～平成31年1月10日（木）必着

問合せ：アカデミー推進部アカデミー推進課文化事業係 TEL 03-5803-1120
〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21

スポーツ振興課

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にむけて in BUNKYO

アジア初のIOC委員である嘉納治五郎の生誕祭を記念し、柔道・サッカー・陸上などの普及と、スポーツ推進に尽力した同氏の教育者としての視点から、講演会などの企画事業を開催します。

◆企画展示（競技紹介パネル展示など）

日 時：平成30年10月25日（木）～29（月）
会 場：文京シビックセンター地下2階 区民ひろば（春日1-16-21）
◆講演会（サッカー・柔道）・企画展示（オリンピック・競技の歴史など）ほか
日 時：平成30年10月27日（土）～28（日） 会 場：文京シビックホール小ホール
※詳細は区報（9/25号）及びホームページ等でご確認ください。

問合せ：アカデミー推進部スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック事業担当
TEL 03-5803-1309 http://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/olympic.html

生誕150年
没後60年

横山大観

[よこやま・たいかん]

(1868～1958)
日本画家



30代の横山大観
(公財)横山大観記念館提供

明治元年、水戸下市三ノ町（現・茨城県水戸市）に水戸藩士・酒井捨彦、寿恵の長男として生まれる。幼名は秀蔵、のち秀松、秀磨と改める。明治11年、一家で上京、湯島小学校に通い、明治14年卒業。東京府中学校（現・都立日比谷高校）、東京英語学校（現・日本学園中学校・高等学校）で学び、明治22年、東京美術学校（現・東京藝術大学）に1期生として入学。卒業後は東京美術学校助教授となるも、明治31年、師である校長・岡倉天心とともに辞職、日本美術院創立に参画。明治41年より上野・池之端に居を構える。昭和12年、第1回文化勲章を受章。世界に通用する日本画の創造に取り組み、明治期の日本画の草創期から、戦前戦後と美術界を牽引。昭和33年に89歳で没するまで、東洋の思想や歴史に題材を求めた意欲的な多くの作品を制作した。

■横山大観記念館
東京都台東区池之端1-4-24 TEL 03-3821-1017

文京とのゆかり

年	年齢	事項
明治11年(1878)	10	一家で水戸から上京後、湯島小学校に入学。
明治12年(1879)	11	この頃、本郷区妻恋町9番地（現・湯島3丁目）に住む。
明治13年(1880)	12	祖父・酒井喜熙が小石川・伝通院内で死去。
明治14年(1881)	13	湯島小学校を卒業。
明治18年(1885)	17	東京大学予備門四級と同予備門英語専修科のかけもち受験が発覚し、共に失格となる。
明治21年(1888)	20	《悲母観音》制作中の狩野芳崖を東京美術学校設立の事務所（現・小石川植物園）に訪ねる。
明治26年(1893)	25	この頃、本郷区湯島新花町95番地（現・湯島2丁目）に住む。
明治27年(1894)	26	東京美術学校受験のための予備校・共立美術学館（本郷区森川町1番地字仲通241号（現・本郷6丁目）島田友春宅）の館主となり、1ヶ月間ほど教員をつとめる。
明治28年(1895)	27	東京美術学校校友会有志により、大観、西郷弧月らの送別会が湯島・魚十楼で開かれる。
明治30年(1897)	29	結婚を機に親元より独立し、本郷区駒込東片町43番地（現・向丘1丁目）に居を移す。
明治31年(1898)	30	湯島天神前・巡查合宿所に日本美術院創立事務所が設立される（のち下谷区谷中初音町に移転）。
昭和15年(1940)	72	湯島小学校創立70周年にあたり、「富士」を揮毫し寄贈。

※「生誕150年 横山大観展」図録 年譜（横山大観記念館 学芸員 佐藤志乃・池田博子編）より作成



横山大観画「富士」 昭和15年(1940) 文京区蔵
湯島小学校創立70周年にあたり、大観が揮毫し寄贈したもの。
※平成31年2月3日～10日、文京シビックセンター1階で公開。



森鷗外著「雁」口絵
大正4年(1915)
文京区立森鷗外記念館蔵
口絵は大観の画。大観は東京美術学校で鷗外の美術解剖学を受講。また第1回文展(明治40年)審査員を共につとめた。



夏目漱石の書が かけられた 大観の画室

大正初期
(公財)横山大観記念館提供
大観は漱石を敬愛し、互いの邸宅を訪問するなどの交流を持っていた。明治45年、漱石から自作の漢詩軸が贈られ、また大観も自作の柳の絵を贈呈した。

没後80年 嘉納治五郎

[かのう・じごろう]
(1860～1938)
教育者・柔道家



嘉納治五郎
70歳頃 (公財)講道館提供

水道橋時代の講道館
『小石川区勢総覧』(昭和9年発行)より
講道館は明治22年～24年真砂町、明治26年～昭和8年下富坂町、明治40年～昭和8年大塚坂下町、昭和8年～昭和33年水道橋(春日町)など文京区内に所在し、昭和33年から現在地(春日)。

万延元年、摂津国菟原郡御影村（現・兵庫県神戸市）生まれ。明治3年上京、明治10年東京大学文学部編入。卒業後、学習院教頭、第五高等学校校長、第一高等学校校長を経て、明治26年より東京高等師範学校校長。東大在学中より柔術を学び、明治15年、下谷・永昌寺に講道館を創設し、講道館柔道の普及を開始。明治42年、東洋人初の国際オリンピック委員会 (IOC) 委員となり、日本が初参加したストックホルム大会には団長として参加。昭和13年、東京オリンピック招致のためカイロ会議に出席、その帰途船中で病死した。

■講道館柔道資料館・図書館
東京都文京区春日1-16-30 TEL 03-3818-4562



協力:(公財)講道館

文京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

●文化資源担当室・文京ふるさと歴史館

歴史講演会「横山大観―芸術維新に臨んだ男たち―」

文京ゆかりの日本画家・横山大観の創作活動を機軸に、文京区域も含めた文化人との交流や逸話などについてもお話いただきます。

日 時:平成30年12月6日(木) 13時30分～15時30分(開場13時)
講 師:横山浩一氏(横山大観曾孫・(公財)横山大観記念館執行理事)
会 場:文京シビックホール小ホール(春日1-16-21)
対 象:高校生以上 定 員:300人(抽選) 参加費:無料
申 込:往復はがき(1枚2人まで)に「12/6歴史講演会」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号と返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は11月19日(月)必着。



横山浩一氏

史跡めぐり「横山大観ゆかりの地を辿る～湯島から谷中へ～」

コース:湯島地域、横山大観記念館、谷中方面を巡ります。
日 時:平成30年10月12日(金) 13時30分～16時(雨天決行)
ガイド:ふるさと歴史館友の会「文京まち案内」ボランティアガイド

対 象:高校生以上 定 員:50人(抽選)
参加費:690円(保険料・入館料)
申 込:往復はがき(1枚2人まで)に「10/12史跡めぐり」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は9月26日(水)必着。



横山大観記念館(ホームページより)

特別展「ねこの細道・さんぼ道―ぶんきょう道中ひげ栗毛―」

街道や路地裏を行き来する猫の視点を参考に、区内に遺る様々な史跡や文化財を紹介します。ゆかりの文化人・嘉納治五郎などの事績も取り上げます。

会 期:平成30年10月20日(土)～12月2日(日)
会 場:文京ふるさと歴史館 地下1階企画展示室
入館料:300円(20人以上の団体210円) ※11月3日(土・祝)は無料公開日

特別展記念講演会「地図でたどる文京区の地形と地名」

日 時:平成30年11月18日(日) 14時～16時(開場13時30分)
講 師:今尾恵介氏(地図エッセイスト・日本地図センター評議委員)
会 場:文京区男女平等センター(本郷4-8-3) 定 員:100人(抽選) 参加費:無料
申 込:往復はがき(1枚2人まで)に「11/18特別展記念講演会」・全員の住所・氏名(ふりがな)・電話番号、返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は11月2日(金)必着。

特別展関連史跡めぐり「文京さんぽ―本駒込・千駄木の細道をめぐる―」

日 時:平成30年11月13日(火) 13時～16時(雨天決行)
ガイド:ふるさと歴史館友の会「文京まち案内」ボランティアガイド
対 象:高校生以上 定 員:50人(抽選) 参加費:40円(保険料)
申 込:往復はがき(1枚2人まで)に「11/13史跡めぐり」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にもあて先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は10月26日(金)必着。

ミニ企画「右京山の今昔」

嘉納治五郎の足跡と講道館の歴史、『姿三四郎』で知られる作家・富田常雄の作品などを紹介します。

会 期:平成30年9月27日(木)～12月24日(月・祝)
会 場:文京ふるさと歴史館 2階常設展示室ミニ企画コーナー
入館料:100円(20人以上の団体70円) ※特別展開催時は一般300円(上記参照)

問合せ:文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29
TEL 03-3818-7221 http://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/

開館時間:10時～17時
休 館 日:月曜(祝日の場合は翌日)、
9/26、12/25～1/4、1/22、3/26

※中学生以下・65歳以上、友の会会員、障害者手帳等提示の方と介護者1人は入館料無料

